

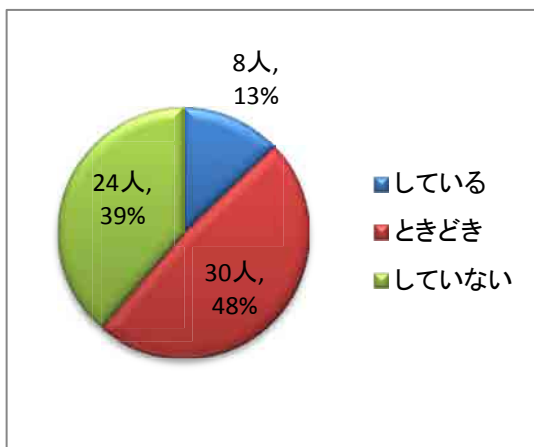
情報誌「はあもにい」に関するアンケート：男性にとっての男女共同参画

平成25年8月実施

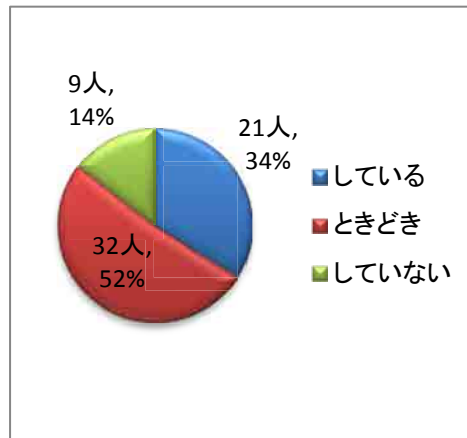
62名がアンケートに回答

Q1: 次の①～⑥の家事への参加について、
当てはまるものにチェックをしてください。

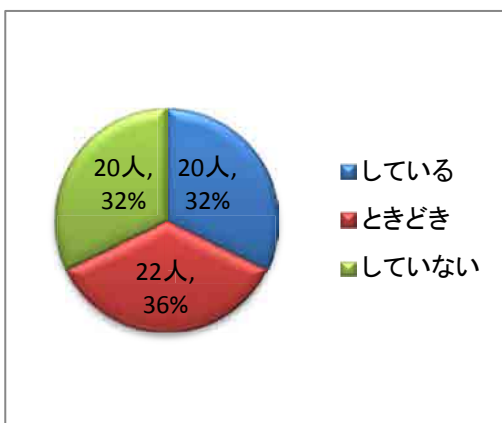
① 食事の支度



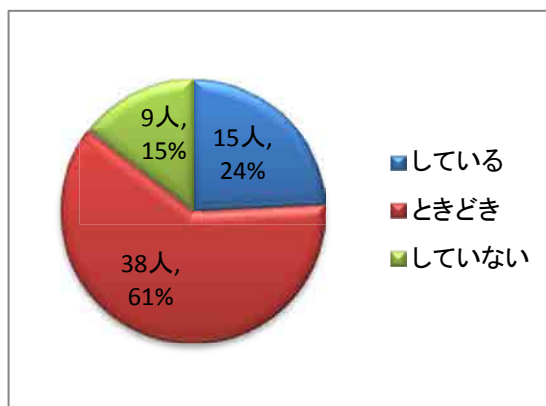
② 食事のあとかたづけ



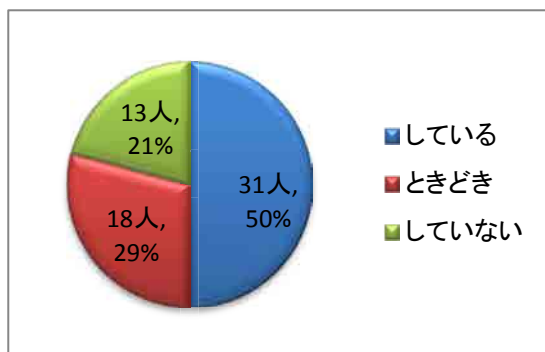
③ 洗濯



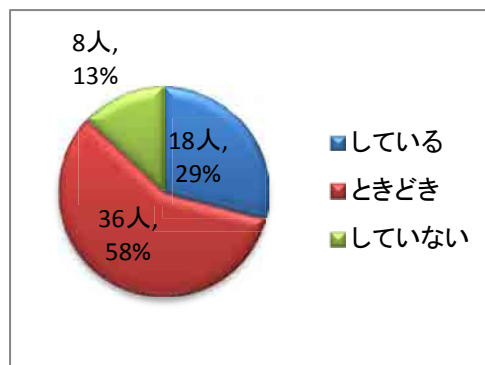
④ 部屋の掃除



⑤ ごみ出し

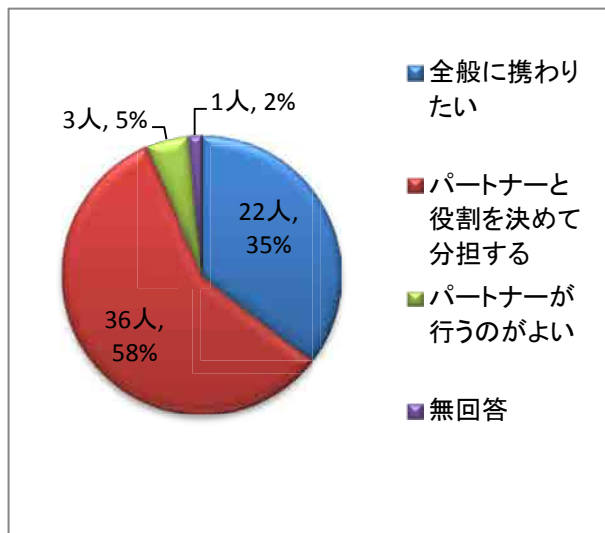


⑥ 食料品など日用品の 買い物

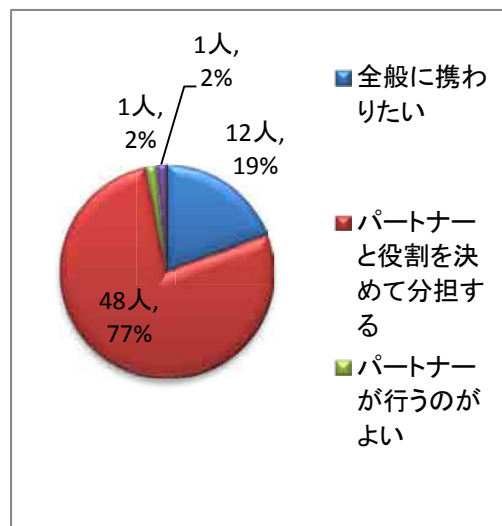


Q2:あなたは子育て、介護、教育・地域活動に
どのように携わるのが理想だと思いますか？〈全員の方〉

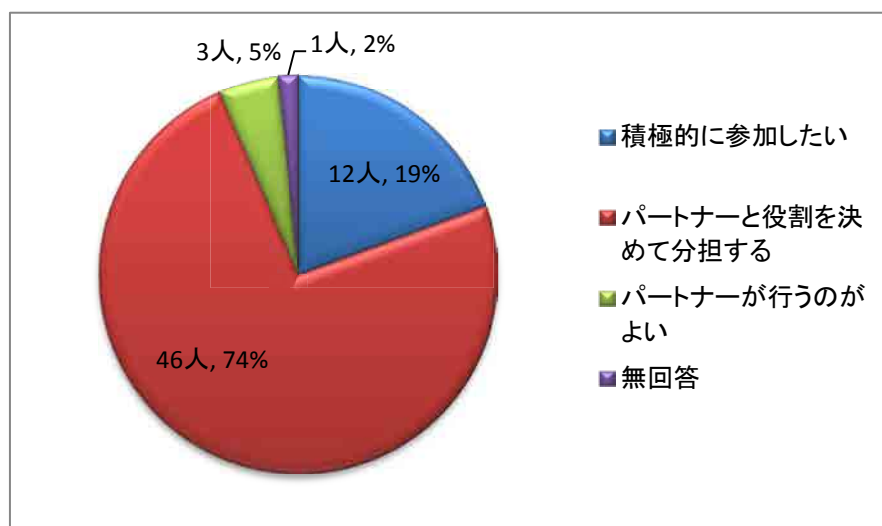
子育て



介護

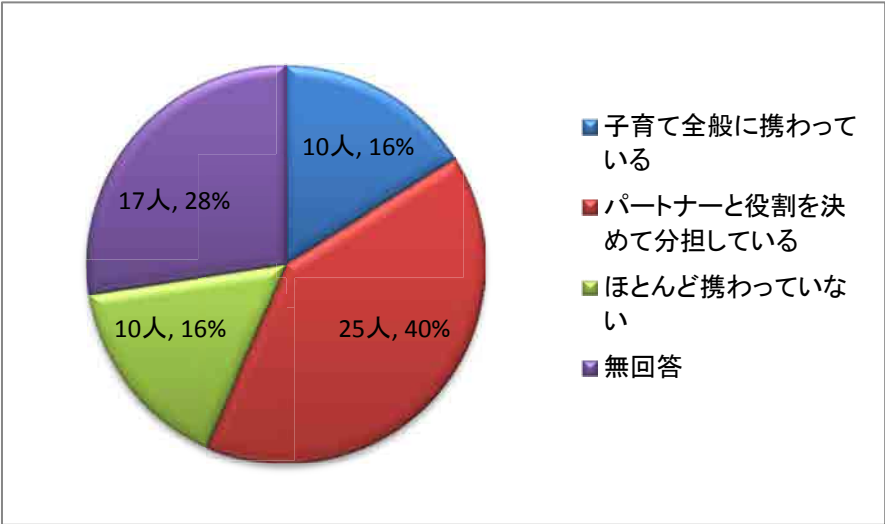


教育・地域活動



＜現在、子育て、介護、教育・地域活動をされている方にお尋ねします＞
Q3:子育て、介護、教育活動にはどのくらい携わっていますか？その理由も教えてください。

子 育 て

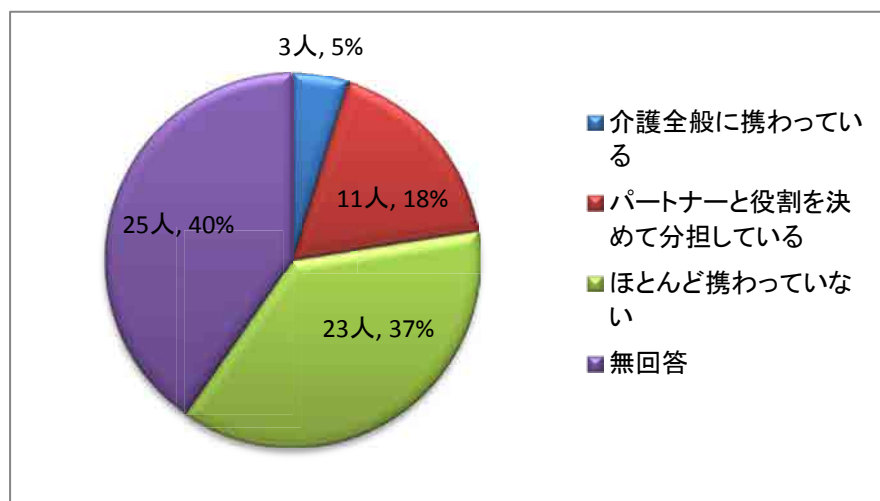


理 由

父・母(男性・女性)としてそれぞれの役割があると思うから
まだ、子どもがいないから
子育ては女性だけの問題ではないと思いますので。
両親ともに携わるべきだと思うから。
子どもが、まだいない。
帰宅時間が遅いため休日等に役割を決めて行っている。
したいから
共働きである環境の中でその時の条件、内容に応じ互いに協力している。
子育て終わってます。
職種が営業の為、休日が子どもとなかなか合わせられない。また、日頃の帰宅時間が不規則。
自分の子供だから。当たり前の事。

仕事の都合上、時間的にほとんどない。
独身
仕事が忙しく接点がなかった。
子はいない
それが当然と思っているから。
嫁がしっかりしているので。
仕事がない時などには、できる時にできることはするようにしている。
子どもがかわいいから。
共働きのため
妻が専業主婦なので。
子どもがいらないから。
気持ちは全般にと考えているが、仕事上できる時に携わっている。

介 護

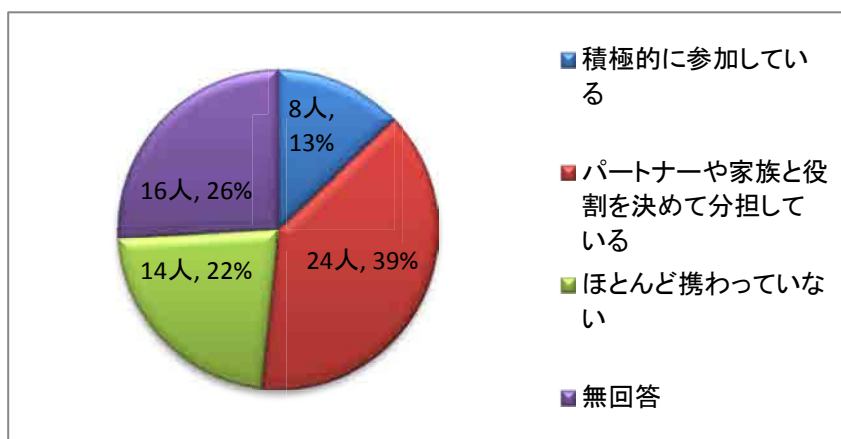


理 由

男女の差もあるので、役割を決めて分担する方が介護される側にもいいと思うため。
介護する人がまだいないから。
95歳の母。妻の母。最大公約数的になんでも引き受けてきた。江津・3世代住宅。精神介護・バトンタッチ息子。父がいなかった役割が分からなかった。自然にできた。

対象者がいない。
対象(親)がそういう状況にまだない。
ひとり暮らし
今のところ介護の必要なし
現在、介護の必要な家族はいないが必要であれば分担を決める。
身近に要介護なし
対象者がいません。
介護の場がない。
お互い仕事を持っているため、自分の親は自分がみるようにしている。
気持ちは全般にと考えているが、仕事上できる時に携わっている。

教育・地域活動



理由

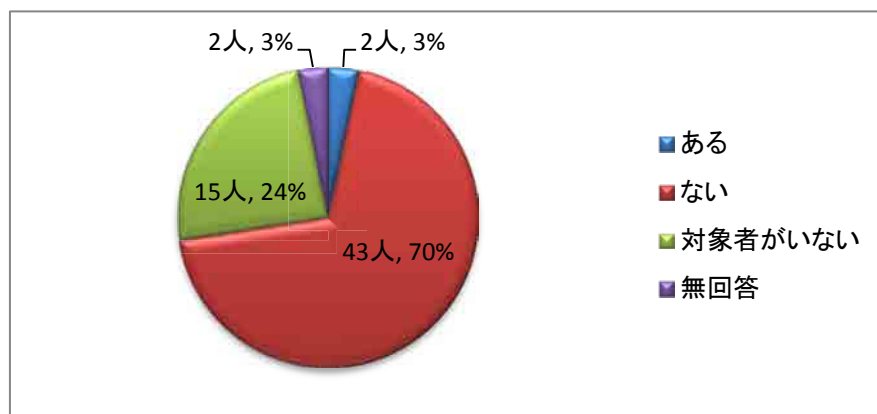
内容によって役割を決めている。父・母としてや男性女性として必要性が違うため。
家族と役割を決めると負担も軽減すると思います。
両親ともに携わるべきだと思うから。
自分の役割
内容や時間的な制約などを考慮し、包括的に最善と思われる方が参加している。
仕事とプライベートの時間の確保もままならない中、まだ繋がりをみつけきれしていない。
職種が営業の為、休日が子どもとなかなか合わせられない。また、日頃の帰宅時間が不規則。

お互いに仕事をしているため
参加する時間がない。
・地域活動に興味あり。 ・人のつながりも増える。
子どもが小さくまだ参加できていない。
地域の人たちと日常的な付き合いがない。
あまり興味がない。
仕事がない時などには、できる時にできることはするようにしている。
あまり機会がない。
共働きの為
仕事で朝早く夜遅いため
やはり仕事優先になる。
仕事の関係上、休みが合わないため
気持ちは全般にと考えているが、仕事上できる時に携わっている。

＜全員の方にお尋ねします＞

Q4:あなたは、育児休業、介護休業をとったことがありますか？その理由も教えてください。＜全員の方＞

①育児休業

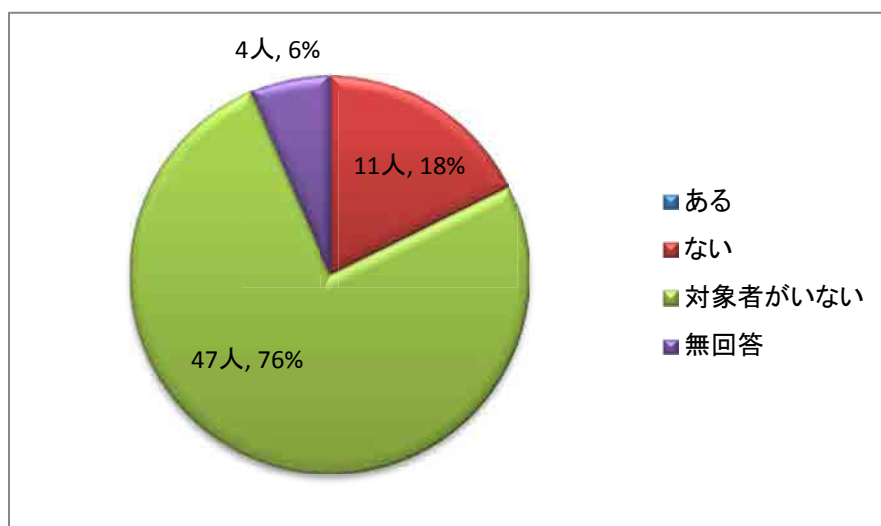


理由

自営業なので
妻がパート勤務であり、融通が利くため。
仕事が忙しいから
そんな制度がなかった。
職場に育休制度がない
今までに必要性を感じなかったため
会社指示
妻が病気や仕事の時
パートナーが育児休業を取得できる環境だった
妻が育休から職場復帰して以降1年間就業時間を1日当たり90分間短縮する育児時間を取得したため。
会社にその制度がなかった
取りづらかったため(周囲で取得した人がいない)
仕事が忙しかった。
配偶者が専業主婦のため
妻が就業しておらず当家庭においては特に必要なかった。
子どもがいない。
取れない。
会社の理解が不足していた。
職業柄困難。会社に制度がない。
妻が専業主婦だったことと、その時の職場が取れる環境ではなかった。
そのシステムが会社にないから。
仕事上取れないし、他の人もとっている人がいない。
独身
妻が専業主婦のため。
社風が許してくれない。

自営業なので
当時、男性に制度なし。
妻が取ったため
融通のきく勤務体制だった。
仕事で忙しい。
職場の条件付きなので取ることは難しい。
パートナーが育児休暇を取ったため

②介護休業



理由

そんな制度がなかった
今のところは、両親が元気なため必要を感じない
職場規定としては特にしていない？
親が元気
介護者なし
当時制度なし
現在、介護の必要な家族はいない。

Q5:男性が、家事、子育て、介護、教育・地域活動に参加することについてあなた自身の考えをお聞かせください。

これからの社会では共働きがデフォルトの社会になると思うので夫婦での役割分担が全般に不可欠になると思う。

女性同様に参画することが必要だと思う。

夫婦ともに働いているので家事、子育て、介護等協力しながらやっていく。

男性が参加することは大いに結構だと思う。しかし、男性が参加すべきだと強く発信されるのはどうかと思う。人権において男女平等とはいえ、男性・女性の性差を超えて補うことが出来るのであれば、その役割が反対であってもいいと思う。

家事・子育て・介護・教育・地域活動全てにおいて女性に任せるのは昔の考え。全てにおいて協力し合う必要がある。

男性が積極的に協力していくことで女性も仕事をしやすい環境になると思いますので、協力や理解は必要だと思います。

私は母子家庭という父親不在の家庭でした。結婚は家庭的な人と思い高校時代から付き合い合っていた一学年上の人としました。3人の子どもを育て、孫も4名います。同居の孫が近くに住んでいます、一緒に過ごすことも多く子どもたちと身近に接していたことがずいぶん役に立っていました。

男女の差を考えたことがない。男でも女でもできる方がすばいと思う。

女性も共働きの世帯が多く、女性の負担が大きいと考える。男性も自立して積極的に家事等に参加すべきである。

プライベートな時間をきちんと確保できる環境の中で参加すべきと思います。

共働きであれば、当然のことと思います。

家事については、家庭内で話し合うことが適切で男性、女性という性別で考える考え方は現代の家庭の事情とは合っていない。なぜ男性が家事・子育てに参加できないかという問題は個人的な意識の問題というより個人と会社との関係による構造的な問題である。
各家庭の家事・子育ての事情を考慮できるほど企業に余裕がないため、家庭内の諸問題の多くが個人の経済的、時間的な損失として表面化しているのが現状である。
また男女共同参画を推進することは賛成しているが、単に女性の企業への参加、男性の家事・子育ての参加といった表面的な現象を課題として取り上げることには疑問を感じる。そもそもこの数十年間に主張に変化がないことは、この課題に対してのアプローチに問題があると考えている。

男女関係なく参加すべきで、それは仕事等も同じ。それぞれが役割分担して納得できる形がいいと思う。

出来ることは積極的に参加したい。

当たり前

男性として一見敬遠されがちな事柄であるが、実際やってみると、新たな発見や楽しみ、繋がりがあり、プラスの要素も十分あると実感している。
こういった情報を積極的に発信し、社会的な慣例が弊害となって生み出される「食わず嫌い」を失くすことで男性の参加も増えるのではないかと感じる。

新たな知識や経験を取得することが出来、自分の生き方に良い影響を与えるとともに、家庭の絆が強まる。
女性の就業率が上がったので、男女の格差がなくなりつつある。なので、均等に家事などをやっていくべき。
夫婦(みんな)で力を合わせてやっていくものだと思います。
できるときにできる人がすればよいと思う(あらかじめ役割分担で決めるものは決めてもよい)そもそもパートナーがすればよいと思っていないので。
“こうあるべきという考えはないが、どうやっていくかはパートナーとしっかり会話することは必要と思う。
特に考えを持ち合わせていない。
男女に関係なく役割分担することが望ましいと考える。
家族として家庭として男性、女性を問わず責任を果たす必要がある。性別で役割を区分することはないと思う。
お互いの協力があって家族や社会生活が成り立っていくものと考えています。
家事について、休日は基本できるだけやっています。地域活動については、土・日が休みでないため、協力できません。
介護は年々大変な状況になってきています。仕事との兼ね合いが難しい。
自分のところもそうですが、女性(配偶者)がパート等で働いている状況なので、相手が出来ない時には、できるだけ家事、子育て等は自分が役割を担う必要があると思います。
男女共同参画の流れで、積極的に参加していくべきだと思います。世の中の流れのことはみんな知っていたはずなのに、言葉の端々などで、理解や意識がまだまだだと感じる。
男性だからと性別によって決めつけずやれることから参加する。男性自身の抵抗感をなくす。
参加するのは私自身は積極的にやりたいと思うが、休日や、仕事の時間が不規則の為、予定や約束が難しい。企業がそこまで考えて制度や、就業時間の短縮等、取り組む余裕もないのが現状ではないかと思う。
低所得化が進み、共働きの家庭の割合が増加している中で、女性だけが家事、子育て等を行うのは負担が大きいと思います。にもかかわらず、男性だけが稼ぎを得るのが一般的だった時代の雰囲気や考え方、システム等がまだ根強く残っているとも感じます。
特に深い考えはないが、その家庭での考え方があるのですべえに男性(女性)が参加することは無いと思う。
男性・女性に関わらず、できる側が参加すればよいと考えます。
時代の流れであり、必要だとは思う。
女性の社会進出が当たり前となった現在は男性・女性という区別は全くないと思います。上記の項目は「やらなければならないこと」それを誰がやろうが関係ない。

今後は男性も全面的に参加していくべきだと思う。
良いと思う。積極的に参加していくべき。
子育て、介護、地域活動(ボランティア)については積極的に取り組みたいと考えている。
男性が参加することに異議はないが、現実的に難しい側面も多い。まずは、男性以上に活躍する女性が増えることが望ましい。そうすれば家事を分担したり、共稼ぎ世帯を前提とした社会環境が生まれるはずだと思います。
共同参画することは当然のことと思う。
時間に余裕があるなら参加すべき
家族や妻と一緒にいくことが望ましいと思う。分担することは分担して家族の考えもあるためそれぞれの形があると思うので一概には言えない。
仕事との両立が出来ればそれでもいい。
特にポリシーはない。男性でも女性でも参加しやすい方がすればよいと思う。ただし、教育・地域活動は、日頃地域の活動に携わってないのと敷居が高く感じる。
休みの日は積極的に参加すべきと考えます。
積極的に参加すべきだと思う。男性女性と区別せず、何事も出来る人が出来ることを出来る時にすることが当然の義務だと考えます。
特にない。
男女雇用及び就労に機会を平等にするためには社会の風潮や会社(企業)の理解が必要不可欠。そのためには、国や行政が会社(企業)にもっと働きかけ職場復帰に関して強制もしくは義務化しなければ実現は不可能と思います。
女性も男性も仕事と家事、子育て、介護、教育、地域活動及び、その他の活動においてもバランスのとれた生活が出来るように協力していくことが望ましいと考えます。それぞれ大変ですが…。
出来るだけ参加した方が良いと考えているが、家族を養っていくためには、仕事優先になってしまう。
パートナー・家族とよく話し合い、できることはやっていきたい。
必要に迫られたらもちろんやります。(たとえば妻が働いて時間が取れないなど)
家庭により、それぞれの労働条件が異なっており、仕事以外への参加についての調査をすることは困難と考える。
本業(仕事)に影響がない程度にパートナーと話をし、合意して分担することが望ましい。
男性と女性に格差がない以上全てにおいて、同等に携わるべきだと考えます。
子育てについては、子どもの成長と共に関わりが必要と感じ。時間の許す限り携わっている。介護については対象者がいない。その他についても、少しでも関わり、家族の状況などを確認している。
関係者との間で上手く調整が図られれば積極的に参画してもよいと思う。

**Q6:どんなこと(支援・サポート)があれば、仕事以外への参画がしやすくなると思いますか？
具体的に教えてください。**

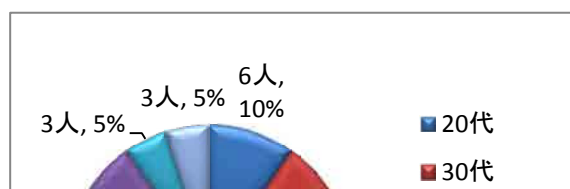
ジェンダー差別がなくなることで、今までのステレオタイプは社会的役割分担が変わり、性差による決めつけが減り、そのことで自由に役割分担をできるようになることが根源的に必要だと思う。
有給等が取りやすい職場の風土。
時間短縮勤務など、企業や会社が積極的に取り組んで欲しい。
・育児・介護休暇が取りやすい企業風土づくりをする。 ・育児・介護休業の単発的な取得ができるようにする。 ・「男性の参画も当たり前」「男性の参画がない」という発信と雰囲気を作らず、男女平等で参画することを周知する。
何か活動する機会があれば、土曜日の午後からの活動を多くするとよいと思います。(土曜日の午後からが休みだったり、土・日が休みである人も多いと思いますので)
社会(会社)の理解が一番です。でも、私が子育てしてきた時代より環境は悪くなっているような気がしています。PTA活動、部活動の指導者、地区の公民館長等を経験してきています。特に地区活動では同じ校区でも町内によって環境が大きく異なっています。
育児、介護、学校行事参加等に使える有休(今の職場は有休がない)。
・緊急時や支援が必要になった時に休みを取れるような勤務形態にしてもらえる職場 ・高齢者や支援を必要とする方を介護している方を地域や、公的な(行政)制度で支え合うことが出来るような環境作り。
残業させない取組。休日がしっかりとれる体制づくり。
・子育ては、家庭内だけでなく地域の様々なサポートを受けながらするものという啓発運動 ・子育てに関する親教育の研修 ・子どもへの医療費、教育費、食費など費用を子ども手当のように金銭で与えずに地域通貨のような形で提供 ・企業に対しては、若者の雇用促進と合わせて育児のための時間単位での有休制度の導入促進。 ・企業内での家庭教育、父親教育の推進が企業業績に影響するという啓発運動 ・企業とNPOとの連携。単に地域行事への参加ではなく地域課題を解決する方向での連携・協働への啓発
働く場所、時間等の拘束を失くす。→成果主義 正社員主義をやめ、フリーターや派遣社員の賃金や社会的地位を上げて、誰でも細切れに1個以上の仕事をできる環境を作る。会社員をせずに自営業者として企業を取引をする。
特にない
企業を始めとした職場環境に整備が不可欠と思われる。具体的には慢性的な時間外勤務を積極的に削減する制度。突発的な家庭の都合に対応できる制度などの導入。 ただ、大企業はもとより、特に中小企業については、従業員一人ひとりの動向が会社に与える影響が大きいため、営利目的である民間企業については、企業に対してもメリットを与える行政の積極的な支援が必要だと思う。
小学生への支援の拡充。自動育児クラブの拡充。

残業時間が減る工夫を企業が行う。
企業が制度として取り入れる。育児休暇取得した場合など、それまでの給与をそのまま維持するなど。
制度というよりも個々の意識の問題だと考えます。
時間短縮勤務など企業の取り組みや支援
子どもがもう大きいので支援・サポートしていただくことはあまりないと思います。
企業内の取りやすい雰囲気づくり。人員増(融通がきくような) 取り組んでいる企業への表彰・紹介や税優遇？行政の率先した取り組み実績。お互いの 暖かい受け入れ、役割を一部の人に押し付けない。
・企業が、積極的に制度作りに取り組む以外にないような気がします。個人の力ではどう にもならないことが多い。 ・国にももう少しかわっていただきたい。
・育児休暇取得中、取得後の男性に対する企業からの精神面・金銭面でのケア。 ・男女の非正規雇用、低賃金労働の改善(特に女性) ・行政による民間企業へのアウトリーチ(助成制度の紹介や労働条件の時代による変 化、海外との比較などの啓蒙活動)
・有休等をもっと取りやすくする。 企業が意識を変えて、積極的に推進する。 ・ノー残業デー ・土曜日等の半日勤務
上司の理解
生活水準が上がリ、人の幸福度がもっと上のものとなっている中で「普通の生活」をする 上で絶対必要なのはお金。共働きも当たり前。しかし生活水準はその人その人の意識次 第、それを変えるのは難しい。働かないとお金はもらえないので難しいのではないでしょ うか。 ・一人あたりの仕事量を減らすとか ・給料アップするとか 会社も生き物、支援・サポートばかりしてるなら潰れます。
職務規定で決めることがあれば素直にできると思う。職場環境も整えていくことも大事だ と思う。(申請を素直に受け入れる。お互いに協力し合うなど)
給与や昇進に影響がでなくなればよい。
休日
ほどほどに働いても、今まで通りの給与をもらえれば問題ありませんが、現実的ではあり ません。女子が働く環境を整え、共稼ぎが当たり前になると、仕事以外への参画も夫婦で 分担しながら参加できるようになると思います。
給与面についても十分に組んでゆくと、育児・介護で休業時間の取り方に柔軟性を 持たせること。
育児や介護で休みがとりやすい職場の環境作り(雰囲気等)
生産活動がない(少ない)職場作り
介護について、啓発機会が多くなればよいと思う。

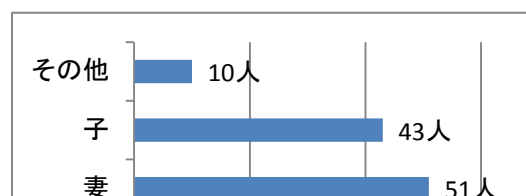
制度を設けてもいざ制度を利用してもよいという職場の雰囲気がないと実行できないため、職場の雰囲気作りを変えるべき。
職場に有休が取りやすい環境があればよいと思う。自分が休みを取りたい時に取れることは少ないと思う。
社会貢献活動休みのような有給休暇があればよい。
Q5の設問の返事通り。それに代わる賃金や地位などの補償の義務化を会社(企業)に課せなければ実現は不可能と思います。
・個人事業主・自営業者への税金の軽減 ・景気の回復(地方まで)
会社が仕事以外の参画の申請の受け入れ対応をしやすい環境にしてくれれば。
①必要であればやと思います。 ②子供が安全で遅くまで遊べる施設(安価にて)
・時短勤務 ・休日出勤の減少
仕事以外への参画は、しやすい環境にあると思う。業務量が多すぎるので、削減業務を見出すことが重要と考える。
サポート支援は、必要だと思うが本人の意識次第だと考えます。
有給が確実に取れれば参画しやすいです。
国が政策的に支援していくこと。又企業がその趣旨を理解し制度化すること。更に重要なことは、その制度が利用しやすい環境となっているか。又その態勢整備が出来ているかが問題である。(時間給の取得、時短勤務、連続休暇の取得)

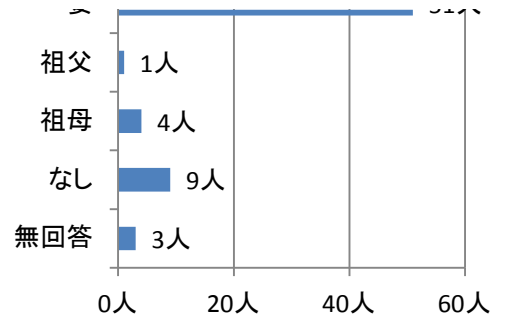
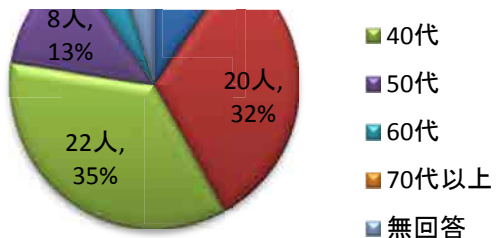
Q7:あなたについて、差し支えない範囲でご回答ください。

年齢

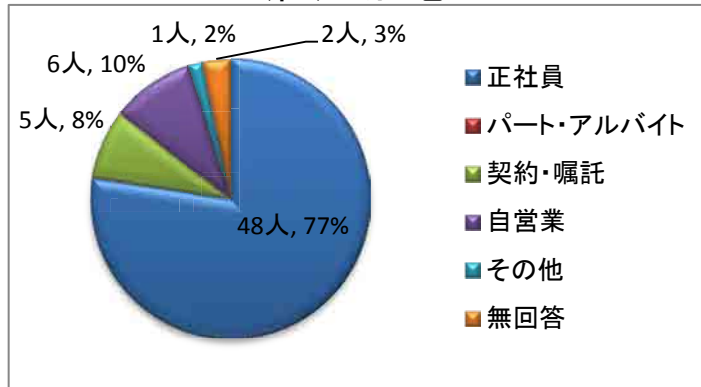


同居家族





雇用形態



職業

自営業
会社員
相談員
公務員
地域包括支援センター
会社役員
団体専務理事
フリーランスプログラマー
SE
地方公務員
サービス業
営業
自営業(建築設計・施工)